

府中市健康地域づくり審議会

第15回いきいき世代づくり分科会 ・ 府中市自立支援協議会報告書

1 と き：平成29年9月14日（木）16時～17時5分

2 ところ：府中市民病院セミナー室

3 出席者：

(分科会長)	府中地区医師会	金光俊尚
(分科会副会長)	府中商工会議所	北川祐治
(職権委員)	府中市政策顧問	寺岡暉
(常任委員)	府中市公立病院	若木俊夫
(常任委員)	府中市民病院機構	北村智樹
(常任委員)	府中地域産業保健センター	石岡卓二
(常任委員)	府中地区歯科医師会	繁原宏
(常任委員)	身体障害者福祉協会	橋高則行

4 会議内容

(1) 分科会長あいさつ

(2) 議事

今年度の期中の進捗状況、平成30年度の予定事業について説明後質疑、意見交換がおこなわれた。その後、食育レストラン「こもれび」で試食会を実施した。

《質問受付・意見交換》

糖尿病性腎症重症化予防事業について

【意見】

糖尿病の重症化予防について、予算的に定員があるのか。もし、応募人数が少なかった場合、再度の応募予定はあるか。

【説明】

プログラムの期間が6か月かかり、このたびスタートが遅かったというのもあるが、年度内に完了したいので、締切りを短くして送付から2～3週間で締め切った。

10人を目標としている。超えると予算上オーバーする。

【意見】

主治医との連絡はうまくいっているのか。

【説明】

主治医から生活指導確認書をいただいて、先生の指示に基づいて看護師が指導を行うようにしている。

【意見】

糖尿病重症化予防、プログラムでは10名計画されて予算化されているということだが、少ないのではないか。結果的には7名になったとのことだが、こちら側の腰が引けている。本腰を入れるなら何人来られてもいくらかの枠を持っておくというくらいにしないと難しいのではないか。

【説明】

そういったご意見も頂き今年度の進捗状況等も検証しながら来年度に向けて検討していきたい。

食育拠点の運営について

【意見】

食数が少ないというのが最大の問題。出張サービスなども検討されたらどうか。

【説明】

最初はプラチナ定食1日20食。スマート定食1日20食としていたが、今年最初の会議で、半

分の10食に目標を下げさせていただいた。それでも1日5食くらいしか出ていない状況。

【意見】

企業や学校の先生方などに順番に一度体験してもらい、リピーターになってもらえるような取り組みはどうか。そうしたリピーターになってもらうものを提供できないといけませんが。

食事をした人のご意見はどうか。

【説明】

体験していただく事は、検討したい。食事をされた方からは、おいしかった参考になったというご意見をいただいている。病院を利用しない方がお見えになっているケースもあり、そういう方がリピーターになっているかどうかまでは検証できていない。今日はぜひ委員の皆さまに食べていただいて、足りないところであるとか厳しいご意見をいただきたい。

【意見】

最初のアンケート集計を改めてみると、スマート定食を食べた人の感想は良い70%、プラチナ定食を食べた人の感想で良いとやや良いを合わせると70%ある。それにしても余りにも1日の食数が少ない。何が原因なのかわからないのか。例えば値段なのか味の内容なのか、以前は全体的にアンケートをとったと思うが、この2食についても一度消費者の生の声をきく必要がある。原因をつかめないことには、なかなか難しいのではないかと。

【意見】

ちょっとした人数で来ようと思った時にすぐにいっぱいになってしまう。それも問題かなと思う。予約をとって外で食事をするというのはできなのか。

【説明】

衛生的な面も考えて、難しい面もある。

がん検診受診率の目標値設定及びがん予防対策

【意見】

高校で喫煙防止講演なども大事だが、府中市では屋内や屋外でタバコを吸える場所が多い。東京では条例で区内では吸えない。町を挙げての取り組みをしないと進まないのではないかと。

【説明】

重要なことだと思う。そういったご意見をいただきながら検討したい。

地域職域で取り組むこころの健康づくり

【意見】

心の健康づくりに係って、ストレスチェック制度があるが、この質問票自体は非常にいいと思うが、問題は正直に答えるかどうかというところと、面談を希望するかどうかというところ。強制力がないのでそこで脱落する可能性がある。実際にメンタルケアを受ける人がどれだけいるのかというところもある程度数字でわかるようにできたらいいという気がする。各事業所でどれだけの人に面接が必要で、そのうち何人が面接を受けたのかは個人情報と関係がないので、数として把握してもいいのかなと。そうしないと実行があるのかどうかかわからない。

【意見】

ストレスチェックをされている企業の比率はどうか。全国的にみて。

【説明】

福山圏内でいうと、70.88%の実施率である。

【意見】

まだ1年目なので十分な取り組みに至っていないのが現状なので、今効果があるかないかというものは少し尚早かなと思う。効果を求めるまでに至っていないのが現状だと思う。性急に考えずに会社も受ける人への啓発をしながらもう少しじっくりといったらどうかと思う。

障がい者の雇用機会の増大に向けた施策

【意見】

障害者支援の取組みはなかなか一般の人にはよく理解されていないところだと思う。国連でも国でも20年前から今では障害者に対する考え方が随分変わった。その内容を市民にしっかりと伝えるということと、府中市近辺では、障害者支援事業は歴史があり、実際どの程度の人に支援が行われて、どういうふうな社会的な成果が上がってるかということは市民の方はほとんど知らない。そういうことに対する啓発を医師会や市、企業も協力してもっともっと内容をよく伝えるべきではないか。そうしないと全く関係のないところで関係のない人たちの事業だという考え方につながるような気がする。折角の取組みが眠っている、皆に知られていないのは残念。

【説明】

啓発等足りないということで、今後いろんな機会とかイベントなどを通じて啓発を行ないたいと考えている。

【意見】

機会やイベントではなくてパンフレットを作るとか、日頃からもっと伝えないと、ベースの伝え方が不十分だと思う。絶えず発信することが必要。

【意見】

就労支援事業所から一般企業へという目標について、いわゆる事業所から一般企業への移行者を重点にしようという目標なのか、それとも障害者が一般企業へ就職される支援をしようという考えなのか。

【説明】

就労継続支援事業所AまたはBの事業所から一般企業への移行である。最近、養護学校の新規卒業生には、学校が力を入れており、直接学校から準備をされて一般企業へ就職される方もおられる。事業所を通して一般企業に就職された方の人数である。

【意見】

行政としての関わりとして就労支援事業所から一般企業へ就職を促進という、障害者の一般就労を支援するような施策が必要なのではないかと思う。その辺りをどういうふうに福祉計画に入れるか。今月、市の職員募集があったが、35歳までの募集。今は中途の障害者が多くなっている。行政的な面からみても、市の職員採用も少しそこらへんも考えると、雇用率が企業も行政も上がるので必要があると思う。

平成30年度予定事業等について

データヘルスを活用した計画策定及び達成目標の具体化について

《事務局から説明》

《質問受付・意見交換》

【意見】

グラフ化して可視化しないと資料がわかりにくい。

このがん・生活習慣病の達成率は日本全国と広島県とこの地域がわかるようなものがどこかに出されているか。簡単なものではなくて、図式化したものを用意してほしい。

【説明】

審議会までに準備する。

【意見】

10月21日のがん検診促進イベントについて、歯科医師会としても配布協力をする。

【意見】

健康地域づくり審議会の協議と結果は、府中市民のアクティビティを示す一番中心的な委員会なので、ぜひわかりやすい資料づくりを心がけていただきたい。

【意見】

今年の重点の中で最重点は何なのか、今年はこれをやるんだということを示してもらおうと、わかりやすいし進捗管理ができる。

今年はこれが重点的にやるんだというのがわかると、もう少し勢いがついてすすむことがで

きるかと思う。食育にしても今年は食育だとか何かそういうことがあると、全体としても進みやすいかなと思う。

5. 閉会

17:05閉会